

3 区提案の取組み

(1) 東区未来会議の開催【新規】

東区まちづくりビジョンとの関連	東区まちづくりビジョンの推進に向けて 推進体制
現状・背景・地域ニーズ	東区では、東区まちづくりビジョンを指針として、区民と協働でまちづくりを進めていくこととしている。 これを実効性のあるものとするためには、区民自らが区政に関心を持ち、東区のまちづくりの指針であるこのビジョンを共有し、区政に対し、意見・提案を行う必要がある。
課題	第1期モニター登録者の任期満了に伴い、若い世代（学生～子育て世代）を対象に第2期モニターを募集したが、応募が少ない状況となっておりモニターからの意見・提案の聴取が困難となっている。
対応方針・新たな取組み	平成28年度はモニター登録者としての再募集は行わず、「学生」「子育て世代」等の対象を定め、ピンポイントで会議を開催し区政に対する意見・提案を行っていく。

(2) 子どもの遊びプランナー養成事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	2 子どもの育成環境づくり
現状・背景・地域ニーズ	子どものころに自然に触れた、友達と体を使って遊んだ、地域の大人たちと接したなどの経験が多い者ほど、大人になってからの「意欲・関心」「規範意識」「職業意識」が高いという調査結果が報告されている中、ゲームやインターネットに夢中になり、外で遊ばなくなっている。	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 公園はボール遊びが禁止されており、また放課後は基本的に部活以外は学校（グラウンド等）に入れないため、外での遊び場がないことから外に出る機会が少なくなっている。 子どもたちが参加している地域行事は、大人が準備したものであって、役割を任せられたものは少ない。また、地域の異世代との交流機会も少ない。 	
対応方針・新たな取組み	H27年度に実施したモデル事業を検証し、新たなモデル事業を地区を選定し実施。また、地域と地域内の企業等との連携を支援する。	

(3) 地域課題検討会改善策実施経費【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	東区まちづくりビジョンの推進に向けて	
	推進体制	
現状・背景・地域ニーズ	平成 24 年度に東区の 18 校区自治協議会へ聞き取り調査を実施し、地域が抱える 5 つの課題「ごみマナー」「地域団体の人材育成」「地域活動への理解促進及び新旧住民の交流」「団体の情報提供」「地域団体以外とのネットワークづくり」を抽出し、この課題の改善に向けた取り組みを実施することとなった。	
課題	<p>モデル地区として取り組んだ町内においては、ごみステーションへの違反ごみの排出が減るなど一定の成果が得られているが、モデル地区以外の地域への拡大が課題である。</p> <p>また、地域団体においては、団体間同士での連携・協力体制が進んでいるが、NPO・ボランティア団体などの地域団体以外との連携は進んでいない。一方、NPO・ボランティア団体や大学などはそれぞれの活動分野において様々な活動を行っているが地域の各団体の活動状況について情報を有しておらず、相互連携についての協議も進んでいない。</p>	
対応方針・新たな取り組み	<p>モデル地区で取り組んだ内容について、他の地域にも拡大していくよう周知を図り、今後、地域が主体的に取り組んでいけるようアドバイザーの派遣等を行う。</p> <p>また、地域団体以外の活動情報を収集し地域へ発信するとともに、団体のネットワーク化と団体間のコーディネート機能の構築を図る。</p>	

(4) 地域コミュニティづくり支援補助金【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	2 地域団体の育成・支援
現状・背景・地域ニーズ	地域では、様々な団体間の連携・調整を図りながら、まちづくり活動に主体的に取り組んでいるが、防犯・防災、環境美化や子育て支援、高齢者福祉等の具体的な地域課題の解決に向けた活動に取り組もうとしても、資金の不足から難しい状況がある。これら、地域課題解決への取り組みや特色を活かしたまちづくり活動を支援するための新たな制度として創設された（5区共通）。	
課題	政令指定都市へ移行してから 3 年が経過し、補助金制度の有り方を検討するためのアンケートを行ったが、現行のままでよいとの意見が多かった。また、活動資金や人的体制が整っている町内自治会は、補助制度を利用し新規事業や事業の拡大ができるが、自治会の運営を継続していきだけで補助制度を利用する余力のない自治会も存在する。	
対応方針・新たな取り組み	平成 26 年度に補助対象団体を拡充し、より多くの地域団体が活用できるよう見直しを行ったところであり、当面は現在の制度の周知を図り活用を促していく。また、自治会の会合等に積極的に参加し活性化の取り組みを支援していく。	

(5) 東区民文化スポーツ交流事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を超えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	<p>東部地区サッカー大会を基盤に 18 校区を対象に東区小学校交流サッカー大会を平成 25 年度から 2 回開催した。(第 1 回 H25.8.10、第 2 回 H26.2.14)</p> <p>また、26 年度からは体協と共催によるミニバレーボール大会の開催や、地域主催の「ちびっこまちづくり相撲大会」・「東部地区駅伝競走大会」・「中村汀女顕彰俳句大会」・「ピアクレス七夕まつり笹飾りコンクール」へ区長賞(賞状、盾等)の提供を行っている。</p>	
課題	<p>第 1 回ミニバレー大会は、18 校区中 17 校区(男子の部 15 チーム、女子の部 16 チーム)の参加、サッカー大会は、第 1 回は 18 校中 12 校、第 2 回は 16 校の参加、今年度はまだ未定であるが全校参加の実現に向けて今後も調整が必要である。</p>	
対応方針・新たな取組み	<p>サッカーやミニバレーボール大会の開催については、全 18 校区が参加できるように平成 28 年度も早い時期に打合せ会議を実施し、開催時期やスケジュールの調整を行う。</p> <p>また、体協長連絡会等で新規競技の開催を検討する。</p> <p>地域主催の「ちびっこまちづくり相撲大会」・「東部地区駅伝競走大会」・「中村汀女顕彰俳句大会」・「ピアクレス七夕まつり笹飾りコンクール」への区長賞(賞状、盾等)の提供は継続する。</p>	

(6) 安全安心のまちづくり事業(交通安全)【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	2 交通安全対策の推進
現状・背景・地域ニーズ	<p>東区内の交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、子どもや高齢者の事故が全体の約 1/4 を占めている状況にある。</p> <p>また自転車の利用状況を見ると、「右側通行」や、傘差し、携帯・イヤホン使用などの「ながら運転」が目立ち、安全運転に対する意識が低い。</p>	
課題	<p>道路交通法の改正により自転車の車道通行は左側通行が義務付けられるとともに自転車の交通違反についても取締りが強化されたが、まだまだ区民への周知が充分ではない。</p>	
対応方針・新たな取組み	<p>現在のキャンペーンや街頭広報を継続的に行うことにより車や自転車の安全利用に対する区民意識を高める。</p> <p>特に中高生の自転車マナーの向上については、積極的に啓発活動を行う。</p> <p>また、区民まつりにおいても交通安全の啓発ブースを設置し広く区民に広報啓発を行う。</p>	

(7) 健康まちづくり活性化経費【新規】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	<p>平成 24 年度から、誰もが住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らし続けることができるよう小学校区を単位とした健康をテーマにしたまちづくりに取り組んでおり、それを推進する健康まちづくりサポーターを養成してきた。平成 27 年 6 月、養成講座の修了生が健康まちづくり推進員となり「健康まちづくり推進協議会」を設立。</p> <p>今後は、各校区が主体的に健康まちづくりを推進していくためには、健康まちづくり推進員が核となり、多くの住民が楽しく参画できる取組みが必要である。</p>	
課題	<p>健康まちづくりのさらなる継続と広がりのためには、子どもから高齢者まで住民が無理なく楽しみながら行うことが出来る方法や内容の検討が必要である。</p>	
対応方針・新たな取組み	<ul style="list-style-type: none"> 健康まちづくり推進員とともに、他都市の健康まちづくりの先進地視察を行い、校区で推進できる方法等を学ぶ。 健康まちづくり推進員を中心に、住民が大勢参加し楽しめるような校区の健康まつりを企画・実施する。 気軽に健康チェック（血圧測定）ができ、住民の健康意識を高める環境の整備を行う。スポットタイプ自動血圧計を東区内 3 公民館及び東区役所に常設。 	

(8) 東区健康まちづくりサポーター養成事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	<p>少子高齢化の進展や住民の生活スタイルの多様化に伴い、生活習慣病予防・介護予防の必要性が高まっている。住み慣れた地域で生涯健康でいきいきと暮らし、子育て世代・壮年期・高齢者等それぞれの世代に応じた対応や働きかけが求められている。平成 24 年度から小学校区単位の健康まちづくり事業の推進に取り組んでいる。</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 18 校区全てに、健康まちづくりを推進するサポーター養成を目指しているが、養成講座を開始して 3 年目であり、まだサポーターがいない校区がある。 サポーターによる健康増進の取組みや啓発を継続していくため、サポーターの継続的な活動の場や、活動促進の仕組みが必要である。 	
対応方針・新たな取組み	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度に設立した「健康まちづくり推進員協議会」の運営支援 健康まちづくり推進員の活動の支援（各校区での活動を計画的に行う） 	

(9) 校区単位の子育てネットワーク推進のためのマップ作成【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 子どもの育成環境づくり
現状・背景・地域ニーズ	<p>少子化および核家族化に伴い、子育て世代の孤立化が増加している。 住み慣れた地域で安心して子育てができるまちづくりを目指して、校区単位の子育て支援ネットワーク組織を育成し、子育て支援活動を行っているところであるが、更なる子育て支援活動の充実や子育て情報発信の充実が望まれている。</p>	
課題	<p>少子化および核家族化に伴い、子育て世代の孤立化が増加している。 住み慣れた地域で安心して子育てができるまちづくりを目指して、校区単位の子育て支援ネットワーク組織を育成し、子育て支援活動を行っているところであるが、更なる子育て支援活動の充実や子育て情報発信の充実が望まれている。</p>	
対応方針・新たな取組み	<ul style="list-style-type: none"> 子育て情報が簡単に検索できるように、東区のホームページに子育てマップを掲載するとともに、スマートフォン対応も検討する。 「こんにちは赤ちゃん訪問事業」をはじめ、幼児健診や転入手続き時、子育てサークル等で子育てマップを配布し、活用促進を図る。 	

(10) 東区スマートライフプロジェクト事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 東区では、働き盛り世代の肥満、糖尿病や高血圧等の生活習慣病に罹患している人の増加がある。そのため、これらを予防し健康寿命を延伸することが喫緊の課題である。 健康づくり活動に取り組む動機付けや行動変容を促し、生活習慣病の予防につなげる必要がある。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 働き盛り世代は子育て世代と重なり、日々仕事や子育てで忙しい状況にあり、健康教室への参加は困難である。 自分の健康について意識はしていても、運動習慣や適切な食習慣となる健康行動に結びつけることやさらにそれを継続することはなかなか困難である。 	
対応方針・新たな取組み	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度は、熊本県が開発した「くまもとスマートライフ」(無料歩数計アプリ)の利用を促すとともに、より多くの区民に対して、健康づくり活動の動機付けと行動変容を促すためのイベントを実施する。 平成 28 年度はこのくまもとスマートライフの活用実績等により検討する。 	

(11) 東区農業者ネットワークづくり推進経費【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	5 暮らしやすく活気あふれるまち
	重点的テーマ	1 地域に根ざした経済の活性化
現状・背景・地域ニーズ	<p>農業は高齢化、後継者不足、内外価格差等の大きな課題をかかえ、また特に東区にあっては住農混在が進み、住民の理解が得られないと農業がやりづらい状況になっている。このような状況の中で、今後の農地・農業関係を見据えながら家族経営、小規模経営への影響等を考慮に入れ、足腰の強い地域農業の確立を図っていく必要がある。</p>	
課題	<p>農地の荒廃、基幹労働力の高齢化など地域農業における生産性の低下、また、これからの農業の再構築のため多面的機能を維持、強化し、農業を通じて地域活性化や伝統文化を守っていく必要がある。このことから農業をはじめ、それを取り巻く関係機関、団体等が一堂に会し、今後の農業情勢の急激な変化への柔軟な対応に努める。</p>	
対応方針・新たな取組み	<p>平成 28 年度 of 取組み</p> <p>①東区未来の農業を考える検討会の開催 東区管内の農区代表者、認定農業者協議会の代表、農業団体、地域の代表者等により構成し、5 年後、10 年後の農業を見据えて農業の抱える問題課題とこれからの新たな展開について意見交換をする。</p> <p>②東区アグリネット関連事業 次代を担う若手農業者の農業経営の確立に向け経営講座、異業種交流、消費者交流の開催</p> <p>平成 28 年度 of 主な取組み 農業経営の決定権委譲に向けたステップアップについて 農畜産物即売会の充実強化 新たな農業経営を目指して協業化と流通改善・戦略等について部会を設け、検討する。</p>	